

田尻だより

平成 19 年

12月号

Vol. 57

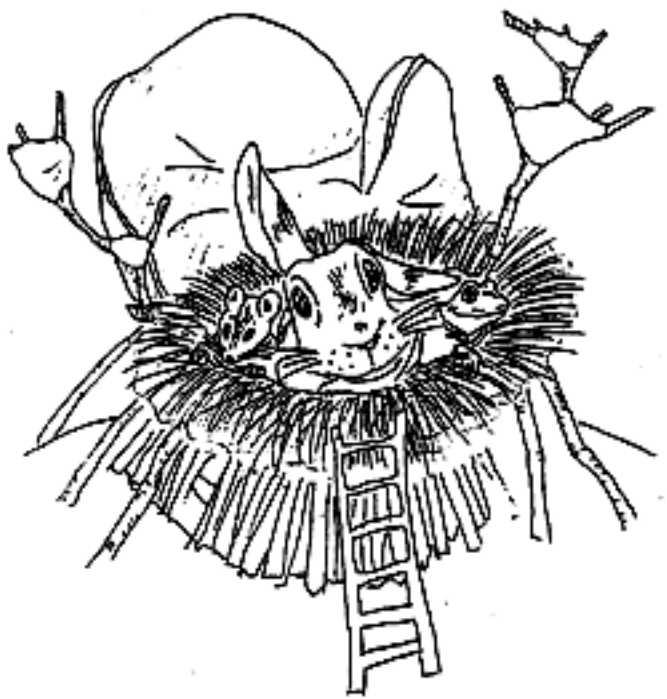
次回の田尻便りは
1月発行予定!

寒冷の候、田尻は例

年になく早い初雪が、十一月半ばなかに降りまし
た。今年も順調かと思
われた秋作業でしたが、
やはり予定通りにはい
かないものですね。
世間は再び食品の偽

装問題に大きく揺れ、
私たち農家も強い憤り
や切なさを感じずには
いられない毎日です。

12月はお遊戯会の季節。
今年のさくらたちのクラスは、



「ぶくろ」を上演するらしい。

〔不都合な真実〕

原油の高騰が続いて
います。豪州オーストラリアの干ばつ
により小麦も高騰し、
大豆に至っては中国の
すさまじい輸入拡大に
よって、下がる見通し
も立ちません。

中でもトウモロコシ
は(※)バイオエタノールの
原料として、米国内の
需要が増大し高騰して
います。これら飼料作
物の高騰は、あらゆる
食肉の価格を一層引き
上げています。

農地は、太陽の光を
人間のエネルギーに変
換する装置です。人は
ここで米、小麦、大豆、
肉、燃料だって得る事
ができます。しかし離

農者は後を絶ちません。
輸入価格に支配される
日本では、何一つ採算
が合わないからです。
今、私達は皆ふるい
にかけられているので

しよう。消費者も農業
者も、「この不都合な世
の中でどう生きますか」
と、問われ続けながら

で、さくらは何の役か
という、「さばもちいのしし」
だそう。



女の子なのに、いのしし...
一体どんな戯になるのか。楽しみながら不安なお話。

未 暦 ~こめごよみ~

~11月2日 わら上げをしました。

11月6日
13日 未検査をしました
20日

諸々の事情により、わら上げが一向に進まな
いまま、雪が降ってしまいました。
このため、わら上げは12月に持ち越しとなりまし
たが、天候次第では、昨年同様に春まで
ずれ込むかもしれません。

嫁日記

11月15日、妊娠3ヶ月に
入ったので母子手帳をもら
いに行きました。書類を書
き、保健師さんの質問を受
けて、交付してもらいます。

実家は遠い和歌山、里帰り
出産はしない、仕事は自宅
の事務所、近くに親しい友
人もいない...という話にな

って、保健師さんが心配そ
うに私を見ました。「ご自分
の空間がないのですね」と。

私にとってこの家はあくま
で「小野寺家」。自分の部屋
はあっても自分の家とは呼
べません。保健師さんの的
を得た言葉に少し動揺した
ものの、そこはあえて笑顔
で、「家族が支えてくれます
から!」と答えたのでした。

※バイオ(マス)エタノール:トウモロコシ、サトウキビ、大豆、木材などを原料として製造されるアルコール燃料。地中深くに眠る化石燃料とは異なり、地球上で循環する炭素から得られる燃料のため、大気中の二酸化炭素の総量を増やさない、枯渇しない(再生可能な)燃料として注目されている。しかし、仮に地球上の全耕地面積をバイオエタノールの原料栽培に当てたとしても、現在消費されているガソリンに置き換えることはできないといった問題点もある。

絵と文 / 小野寺 ひかる